

山北小学校
北小
学だ
校よ

児童一人一人が輝き、夢実現

山北っ子

H31. 1. 18
第 1 1 号

文責 淵上 佳宏

新年 明けまして

おめでとうございませす

少し遅くなりましたが、改め

まして、明けましておめでとうございませす。

旧年中は、本校の教育活動に多大なご協力とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、五月から新元号となる新しい年、平成三十一年（二〇一九年）が始まりました。

山北小の児童・教職員はもちろん、保護者や地域の皆様にとっても素晴らしい一年になりますようにと願っております。



昔から「一年の計は元旦にあり」と言われています。自分が今年新たに挑戦したいことや、続けていきたいことなど、年の始めのこの時期にしっかりと目標を持つことが大切です。子供たちは、どんな目標を立てたでしょうか。ちなみに、校長は本年のモットーを「感謝」としました。一〇七人の子供たちが、毎日元気に学校に来てくれること、まずはこの有り難みへ立ち戻り、一年を始めたいと思っています。そして、本校教育が保護者や地域の皆様のご理解とご支援で成り立っていること、このことに「感謝」です。ただし、感謝は思っているだけで伝わりません。ですから、今年の校長の目標は「感謝を目に見える形で

表していくこと」としたいと思えます。いみじくも、中央教育課程審議会の答申において、これからの教育課程の理念が、

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしなが、社会との連携・協働によりその実現を図っていく。

と示されました。よりよい地域（玉東町・山北地区）を創るという目標を学校が皆様と共有し、皆様との連携・協働を通してその実現を図っていく。この過程に「感謝」を体現できるものがあるように思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

残り三ヶ月 卒業に向けてラストパート

新年が明け、六年生にとって、小学校生活は残り三ヶ月となりました。これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを行動で表すとともに、よき伝統を残し伝えていく六年生とはどうあるべきか、模範を示して後輩にバトンを引き継いでほしいと思えます。

担任の北原先生からの依頼で、話し言葉を書き言葉に直す国語の学習として、先日、校長の思いを六年生に話す機会をいただきました。詳細は割愛しますが、十四人の六年生が自分の心と向き合い、ラストスパートをどのように見せてくれるか楽しみです。

どんどや お世話になりました

一月十二日（土）は、地域の皆様にも呼びかけし、山北小三大行事の一つ「どんどや」を実施しました。「どんどや」は、正月飾りや書き初めを燃やしたり、燂で焼いたお餅を食べたりして、無病息災・五穀豊穡を祈る伝承行事ですが、これを学校行事として行っている学校は少ないと思いますし、その格式や規模にも圧倒されました。前日の餅つきも含め、PTA役員等、関係者の皆様には大変お世話になりました。また、案内チラシは、熊本日日新聞玉東センターのご協力を得て配付しました。併せてお礼申し上げます。



見事などんどやのやぐら

◎ 「学校安心メール」につきましては、協賛事業所の協力により、学校やPTAの費用の負担なく利用させていただいています。この場をお借りし、お礼申し上げますとともに、協賛事業所を学校ホームページに掲載しておりますのでお知らせいたします。

◎ 学校ホームページは、ホームページの運用が新システムに移行した関係で、現在、デザインやリンク先等を修正作業中です。しばらくの間、ご了承ください。

◎ 私事で恐縮ですが、校長は町教委主催の西南戦争歴史検定（初級）に合格しました。少し玉東町に詳しくなった気がします。